

「宮島エコツーリズム推進全体構想」について

1 背景および目的

広島県西部に位置する「宮島（廿日市市）」は、厳島神社を中心とした建造物群や前面の海、後背に位置する彌山原始林は、1996（平成8）年にユネスコ世界遺産に登録され、国内有数の観光地として知られている。

また、宮島全島が自然公園法に基づく瀬戸内海国立公園、文化財保護法に基づく特別史跡および特別名勝「厳島」に指定され、文化財・自然資源に恵まれた地域であり、古来から人々の信仰、生活と密接した歴史を紡いできた。

こうした宮島の魅力ある豊かな自然と歴史および文化などの地域資源の保全を図りつつ、観光関連産業をはじめとした各産業の持続と活性化を推進し、宮島のブランド力を高めながら、地域振興に資することを目的として、「宮島エコツーリズム推進全体構想」を作成した。

2 概 要

（1）エコツーリズムを推進する地域

宮島は、古来から「神の島」として信仰の対象であったことから、人の手が入っていない自然そのままの姿を今に伝えている。全島が国立公園や特別史跡・特別名勝（文化財保護法）に指定されており、また、海域からの景観も重要な要素となるため、推進地域の範囲には陸域だけでなく周辺の海域も対象とした。

（2）対象となる自然観光資源

○主な自然観光資源

（自然環境に係るもの）

弥山、駒ヶ林などの群生林、白糸の滝などの溪流、七浦と呼ばれる宮島周辺に点在する砂浜や湿地帯、シカ、ウミネコ、シジュウカラ、ハクセンシオマネキ、テッポウウオなどの動物、水生動物など

（風俗習慣、伝統的な生活文化に係るもの）

カキ筏などの漁業文化、信仰儀礼（御島巡式など）、民俗資料（民具、猟具、漁具、農具など）、史跡（要害山など）、名勝（全島）、寺社群（厳島神社など）、文化財群（平家納経など）、祭礼（管絃祭など）など

（3）エコツーリズムの実施方法

推進地域における豊かな自然観光資源を活用、保全、継承できるよう、来島するすべての観光客が「資源に対する畏怖・尊敬の念」の意識醸成を図ることができる取り組みを実施し、地元関係者・団体が利益を享受できる仕組みを構築することを目指し、エコツーリズムを推進する。

○主なエコツアー

弥山登山道沿道や海浜における生物、植物観察ツアー、海のクリーンアップ作戦（原生林や海

浜の保全・継承)、海上(船上)での神社参拝ツアー(伝統文化の理解・継承)、史跡めぐり(史跡の保全・継承)、鹿の生態講演会・フィールドワーク(生態系への理解)など

(4) エコツーリズムの推進体制

宮島エコツーリズム推進協議会

((一社)瀬戸内海エコツーリズム協議会、(一社)宮島観光協会、宮島地区パークボランティアの会、宮島地域コミュニティ推進協議会、宮島町漁業協同組合、宮島町商工会、広島県、廿日市市など)

宮島エコツーリズム推進全体構想 エコツアーの写真



海浜生物観察



海浜清掃活動



船上参拝ツアー



資料館庭園での平家琵琶コンサート